

高浜市公共施設あり方計画(案)に対する意見及び回答

1 パブリックコメント実施状況

(1) 意見の提出期間 平成26年7月1日(火)～平成26年7月31日(木)

(2) 意見件数 1件(人数1名(内訳:意見提出箱1名))

番号	意見の対象箇所	意見	回答	対応
1	全ページ	<ul style="list-style-type: none"> ・そもそも遊休施設が多すぎる。改修するぐらいなら取り壊して更地にすることに税金を使ってほしい。 ・箱があるからそこに人を配置したり維持費といった価値のない経費・コストがかかるのでは。 ・フル活用していない施設が多いのに、高浜緑地を建設するのも疑問。流作グラウンドや碧海グラウンドなど遊ばせるの。 ・会議や議論に時間と税金をかけずに遊休施設は時代遅れなのだから取り壊す方に税金を使ってほしい。 ・介護予防施設(くりっく?)は利用したことがないし、利用者が限られているのでは? ・公民館や市民センター等普段空いているが。既存施設をフル活用して。 ・耐震などしていない施設は取り壊す段階にきていると思う。孫世代に負担をこれ以上負わせたくない。 ・建替えや大規模改修が本当に必要なのか。 	<p>「高浜市公共施設マネジメント白書」において、公共施設の利用状況及び維持費等の費用の状況をまとめています。</p> <p>ご指摘のとおり、市内の公共施設の利用頻度は決して高いものではなく、また、施設を廃止すれば、整備費用や維持費等の経費は削減され、他の施策へ有効活用することが可能です。また、既存施設をフル活用することや、施設の一部取り壊しは、今後、避けては通ることができない市の重要な課題であると認識しております。</p> <p>一方で、公共施設を利用している方は、介護予防、地域活動、文化活動等様々な用途で利用しており、上記の課題解決の為に、やみくもに施設を廃止することは好ましいものではありません。</p> <p>高浜市公共施設あり方計画(案)では、人口・施設・財政の視点から、公共施設の今後のあるべ</p>	ご意見として承ります。

			<p>き姿をお示しし、行政サービスの水準を極力維持しながら、施設の耐用年数の長寿命化や、機能が同じ施設の集約化、機能が異なる施設との複合化などの改善案など今後取り組むための全体方針を取りまとめています。</p> <p>今後の市の姿が、ご指摘のご意見に沿うことができるよう検討を進めていきたいと考えております。</p>	
2	全ページ	<ul style="list-style-type: none"> ・本当に財源は限られていると思っているのか、市民の一人として感じる。 行政や委員会のメンバーは意識が低すぎる。 ・補助金だとか委託金だとか助成金だとかNPO法人やらに税金を投入するのも自立を阻害しているようにしか思えない。 ・以前事業仕分けをやって大変良い試みだったと思ったが、もうやめてしまったのも残念で仕方がない。 ・行政があれもこれもやりすぎ。民間の仕事を奪っているように思えて残念。官製のワーキングプアを生み出している。 ・計画的に財源を確保することに対して、行政があれもこれもやりすぎ。民間に任せて。もっと大事なこと（社会保障なり）に税金を投入してほしい。 	<p>高浜市公共施設あり方計画（案）では、今後の財政見直しを行い、財政運営の状況を試算しています。試算結果では施設の総量圧縮の取り組みだけでは、今後の財政運営は立ち行かなくなり、ご指摘のとおり、行政サービスの見直しを併せて検討していくことが必要不可欠です。</p> <p>また、市ではこれまで行政サービスについて、限られた財源の中で市が行うべきこと、民間にお願いすることを区分けし、アウトソーシング（外部委託）を進めてきました。今後もこうした取り組みを継続して進めてまいります。</p>	ご意見として承ります。